

平成27年3月期第3四半期の連結ソルベンシー・マージン比率の公表について

平成27年3月期第3四半期の当社連結ソルベンシー・マージン比率（保険持株会社およびその子会社等に係る保険金等の支払能力の充実の状況）を、下記のとおり算出しましたのでお知らせいたします。

記

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (平成26年12月31日)
(A)連結ソルベンシー・マージン総額	4,261,365	5,161,394
資本金等	974,838	1,156,210
価格変動準備金	78,763	81,655
危険準備金	40,450	47,790
異常危険準備金	944,607	988,041
一般貸倒引当金	3,063	2,592
その他有価証券の評価差額(税効果控除前)	1,627,282	2,187,636
土地の含み損益	152,891	173,060
未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用の合計額(税効果控除前)	△ 37,117	△ 31,760
保険料積立金等余剰部分	216,898	251,680
負債性資本調達手段等	—	—
保険料積立金等余剰部分及び負債性資本調達手段等のうち、 マージンに算入されない額	—	—
少額短期保険業者に係るマージン総額	0	0
控除項目	68,417	71,438
その他	328,102	375,925
(B)連結リスクの合計額 $\sqrt{(\sqrt{(R_1^2 + R_2^2)} + R_3 + R_4)^2 + (R_5 + R_6 + R_7)^2} + R_8 + R_9$	1,169,944	1,281,967
損害保険契約の一般保険リスク(R ₁)	252,849	266,400
生命保険契約の保険リスク(R ₂)	43,229	48,978
第三分野保険の保険リスク(R ₃)	4,112	4,430
少額短期保険業者の保険リスク(R ₄)	83	49
予定利率リスク(R ₅)	33,536	32,996
生命保険契約の最低保証リスク(R ₆)	4,144	3,536
資産運用リスク(R ₇)	757,968	863,875
経営管理リスク(R ₈)	28,170	30,728
損害保険契約の巨大災害リスク(R ₉)	304,499	309,670
(C)連結ソルベンシー・マージン比率 [(A)/(B)×1/2]×100	728.4%	805.2%

- (注) 1. 「連結ソルベンシー・マージン比率」とは、保険業法施行規則第210条の11の3および第210条の11の4ならびに平成23年金融庁告示第23号の規定に基づいて算出された比率です。当該比率は、行政当局が保険会社グループを監督する際に活用する客観的な判断指標のひとつですが、その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされています。
2. 当第3四半期連結会計期間については、保険業法等の規定に準じて当社が妥当と考える方法で計算しており、一部、当中間連結会計期間の数字を使用するなどの簡便法を採用しています。

以上